

学校や先生方を支える教育委員会

～ キャリア教育を推進するための環境づくりはできていますか? ～

キャリア教育に実際に取り組むのは学校や先生方ですが、キャリア教育の推進・充実を目指す上で、学校の設置者にしか

果たせない役割も多々あります。このページでは、教育委員会ができることについて解説します。

キャリア教育の意義や効果が伝わるように働きかけよう!

キャリア教育の推進には、児童生徒に関わる教職員の意識・指導力の向上が重要です。

キャリア教育に関する研修等に積極的に参加し、自己の指導力の向上に努めていると回答した教員は多くありません

(第一次報告書P83, P148, P256)

小学校 6.5%

中学校 8.4%

高等学校 11.7%

【高知県宿毛市教育委員会では】

教育研究所にキャリア教育専任研究員を配置し、キャリア教育通信「希望の軌」を定期的に発行しています。

通信には、目指す子供像や指導計画、評価の仕方などのモデルを掲載し、市内の教職員に配布して、キャリア教育を推進しています。



【宮城県仙台市教育委員会では】

各学校の要請に応じて、キャリア教育担当指導主事を派遣し、講話や年間指導計画作成のワークショップなどを行う、「自分づくりサポート」を実施しています。



キャリア教育における教職員の資質向上につながる支援ができていますか確認しましょう。

点検

- 通信等を活用するなど、キャリア教育について共通理解するための取組がなされているか。
- 子供たちに身に付けさせたい力を小中学校が連携して設定しているか。
- 子供たちが自己評価できる仕組みをつくっているか。
- 各学校へキャリア教育推進についての情報提供ができていますか。

- 管理職や教員へのキャリア教育に関する研修は設定されているか。
- 学校全体で計画的に取り組んでいるか。
- キャリア教育推進のための校内体制作りが進んでいるか。
- キャリア教育に関する校内研修が実施されているか。

具体的な施策の改善を図りましょう。

改善

- 設置者としてのキャリア教育の指針や推進方法の提示
- 小中学校の教職員による合同の研究協議などの開催
- キャリアノートや振り返りカード等の活用
- モデル校の授業プランや実践事例などを定期的に通信等で発信

- キャリア教育の認識を高める管理職研修の実施
- 各校のニーズを把握し、実効性の高い研修の実施
- キャリア教育担当指導主事の配置と支援事業の実施
- 体験活動のねらいを達成するための事前・事後指導プログラムの作成

「働くことの意義」、「社会の担い手としての役割の理解」を伝えるためには、学校が家庭、地域社会や産業界と連携・協働することが重要です。

それぞれの果たす役割をお互いに知ることが大切だね!

保護者や地域、外部団体との連携を図ることは重要だと捉えられています (第一次報告書P75, P138, P245)

小学校 97.2% 中学校 97.8%

高等学校 95.0%

【兵庫県教育委員会では】

兵庫県教育委員会では、関係団体で構成された県推進協議会で協力依頼するとともに、市町の推進体制、事業所等への依頼文例等を掲載した指導の手引を各市町教育委員会へ示しています。これを受けて、例えば、姫路市教育委員会では、市の「トライやる・ウィーク」推進協議会の在り方を見直し活性化を図るとともに、関係団体や市長部局との連携を強め、社会体験活動の充実につなげています。



家庭、地域社会や産業界等との連携・協働ができていますか確認しましょう。

点検

- キャリア教育に関する関係機関による協議の機会はあるか。
- 外部人材と連携したキャリア教育が実施できているか。
- 職場体験、インターンシップ等の受入先は確保できているか。
- 受入先等との共通理解が図れているか。
- キャリア教育についての情報発信ができていますか。

具体的な施策の改善を図りましょう。

改善

- キャリア教育を支援するための教育界、首長部局、産業界等が一体となった協議会の設置
- 学校が利用しやすい形での外部人材情報の提供
- 公立施設等の受入先一覧の作成・配布
- 受入事業所の開拓や事業所対象の受入説明会の開催
- キャリア教育の成果等を広報誌やウェブサイト等で地域社会へ積極的に発信